

地域に寄り添い 2回連続表彰



JA三原地域管内は4月22日、消防団協力事業所として総務省消防庁の基準に基づく表示証の交付を受け、2回連続で表彰されました。同地域は、一定の基準を満たした事業所に認められる「ゴールドマーク認定」を受けており、三原市内で唯一の認定事業所となっています。

田中義彦組合長は「経営理念にもあるように、地域社会に貢献する自覚を持つことが重要。一人ひとりの意識と行動が今回の評価につながった。今後も3回、4回と



▲田中組合長(左)と消防団団長

継続して表彰を受けられるよう、積極的に取り組んでいきたい」と話しました。

柑橘農業塾 樹勢維持・安定生産へ



▲講義する松浦技師

JAせとだ柑橘事務所は5月13日、尾道市瀬戸田町で「せとだ柑橘農業塾」を開き、JA広島果実連の技師を講師に、塾生20人が受講。花や肥料、農薬の知識など、5月の農作業について学びました。同塾は、管内のかんきつ生産者を対象に安定生産や成品率向上を目的として年間を通して毎月実施。作業時期に合わせて、その年の気候や生産状況に応じた講義や園地実習に取り組んでいます。同果実連の松浦道郎技師は「今は花の防除の最盛期。開花の進度に合わせて薬剤防除を進めていきましょう」と呼びかけました。

高齢者助け合い組織 はなみずきの会 総会



高齢者助け合い組織、JA三原地域はなみずきの会は5月20日、三原市のJAビルで総会を開きました。会員やJA職員など29人が出席。昨年度事業報告と今年度活動計画など2議案を承認しました。

昨年度は、地域の利用会員に向けて歌や体操、認知症予防などを行う「ふれあいサロン」を計33回開き、延べ約750人が参加しました。同会の味木寿美恵会長は「会員、地域住民が助け合い活動を通じ、安心して暮らせる地域づくりをし



▲挨拶をする味木会長

ていくために、積極的な情報交換を行い、各関係機関と協力して活動に取り組んでいきたい」と話しました。

特産メロン 「みどりの輝き」初出荷



▲1玉ずつ丁寧に検品する平木部長

JAひろしま鷺島メロン部会は6月4日、特産メロン「みどりの輝き」を初出荷しました。皮が白色で果肉が緑色のノーネットメロ

ンで、さっぱりとした味わいが特徴。収穫前1週間は水を与えず完熟させて収穫し、3日間追熟して糖度15前後に仕上げます。今年度は、定植期の低温による生育停滞を考慮し、3月中旬に定植。定植後の寒波や生育期の高温などの影響が懸念されましたが、徹底した栽培管理により順調に生育し、高品質に仕上がりました。同部会の平木邦弘部長は「今年は気温の上がり下がりが大きかった。その中でも生育状態を確認しながら温度や水分を調整し栽培管理を徹底したため美味しいメロンに仕上がった。ぜひ食べてほしい」と話しました。



水 稲

カメムシ

〔斑点米カメムシ(カスミカメムシ類など)〕

水田周辺の雑草地に生息しており、水稲の出穂とともに水田内に侵入します。

○被害

主に子実粒の頂部および側部を加害し、斑点米を発生させます。籾殻に隙間がある「割れ籾」が多いと、被害が大きくなります。

○対策

水田への侵入を減らすことを目的として、水田畦畔や周辺の雑草地の草刈りを徹底します。

ただし、出穂

期以降の草刈りはカメムシを水田内に追い込むことになるので、出穂10日前までには草刈り



アカスジカスミカメ

を終えておきましょう。

また、出穂前後の基本防除を徹底し、多発時は追加防除を行いましょう。

イネカメムシ

落ち葉の下などで越冬した成虫が直接水田へ侵入し、増殖します。早生品種で発生した次世代成虫は、中生品種に移動し水稲を加害します。

○被害

他の斑点米カメムシ類と違い、主に子実粒の基部(胚芽付近)を加害します。

イネカメムシ成虫1頭/株の加害で、約6%不稔籾が増加すると推測されます。

被害が甚大な場合、大規模で不稔となり成熟期を迎えても傾穂しない様子が見られます。

○対策

発生が多い圃場では出穂前でも侵入しているため、出穂前から防除を行います。

水稲に対する依存度が高いので、出穂の早い水田を重点的に防除すること、後の被害を軽減できます。

出穂前後2回の防除後も発生が見られる場合は、3回目の追加防除を行います。

二番穂でも増

殖し、越冬数を増やすため、収穫後は早めに株をすき込みましょう。



イネカメムシ(成虫)

摘 果

7月は生理落果が終了し、果実肥大が進む時期になります。先月に引き続き、着果の多い樹から荒もぎ摘果を行いましょう。摘果が遅れると樹勢が低下しやすく、果実肥大も進みにくくなるため、早めの摘果を心がけましょう。

柑 橘

品 種	残す果実	落とす果実	葉果比(枚)	8/1時点でのL級になる果実横径
ネーブル	葉5~6枚の 総状有葉果の2番果	直花果、扁平果、へそ大果	80~100	40mm
八朔	葉5~8枚の 単生有葉果	直花果、裾なり果、腰高果	80~100	48mm
甘夏				50mm
しらぬひ		へそ大果、扁平果、奇形果	100	38mm (2L級)
はるみ	葉5枚以上の 単生有葉果	直花果、内なり果、傷果	80	37mm
はるか		内なり果、裾なり果、天なり果 トゲ傷対策のため果実周辺の芽を除去する。	70~90	36mm
レモン	縦長の果実	傷果、双子果	30	34mm (年内M)

かん水

梅雨明け後の乾燥は果実の肥大を鈍らせ、酸高の原因や樹勢低下を招きます。梅雨明け後、10日以上降雨がない場合はかん水を実施しましょう。

落葉果樹

今月は梅雨明けとなります。梅雨明け後は、高温乾燥になりやすい傾向にあります。土壌水分のあるうちに乾燥防止対策やかん水ができる準備をしておきましょう。また、暑い日が続きますので、熱中症にならないよう対策の徹底や体調管理には十分注意して農作業を行いましょう。

摘果・摘粒・袋掛け

ブドウは、摘粒が不十分な場合、裂果につながります。水回り前(色づき始め前)

には、摘粒が完了するよう

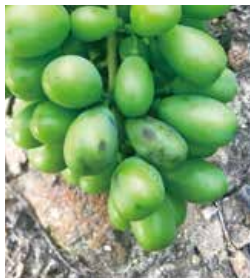
うにしましょう。

摘粒が完了次第、病害

や裂果防止のため袋掛けを行いましょう。

品種	1房当り粒数(粒)の目安
デラウェア	75~85
ベリーA	60~70
キャンベル	60~70
種なしピオーネ	30~35
シャインマスカット	35~40

ブドウ縮果症の果実。急激な土壌水分の変化は縮果症の発生を助長



写真：ブドウ縮果症の果実。急激な土壌水分の変化は縮果症の発生を助長

土壌水分管理

梅雨から梅雨明けの時期は土壌水分が変化しやすく注意が必要です。土壌水分の急激な変化を避けるため、排水対策や梅雨明け後乾燥が続く場合は早期落葉防止、樹勢維持、果実肥大や裂果軽減などを目的に灌水を行います。

新梢の管理(枝抜き・摘心・捻枝・副梢の管理)、枝つり

引き続き、込み合っているところは枝抜き、捻枝(ねんじ)、摘心などを行います。また、副梢(わき芽)の発生がみられたら1〜2枚で摘心するか、込み合っていれば除去します。モモは、収穫時期が近づくにつれて枝が下垂してきますので、枝折れ防止に枝つりや支柱を立てます。

するため注意しましょう。

収穫

モモは収穫時期を迎えている品種があります。青味の抜け具合をみながら丁寧な収穫を進めましょう。

注意する主な病害虫

ブドウ：さび病、べと病 等
イチジク：カミキリムシ類、アイノキクイムシ、そうか病 ハダニ類 等

カキ：炭疽病、うどんこ病、カキノヘタムシガ 等

モモ：灰星病、シンクイムシ類 等
※農薬散布する際は、必ずラベルを確認し記載されている登録内容を確認して行ってください。また、農薬散布の際は農薬飛散(ドリフト)に注意しながら実施します。

果樹カメムシ類の発生状況について

予察灯やフェロモントラップ調査で果樹カメムシ類の発生が急増したことにより、5月28日に広島県より注意報が発表されました。今後の拡大に注意

し、園地で飛来を確認した場合、防除対策を徹底しましょう。

防除する際は最寄りのアグリセンタールに相談してください



果樹カメムシ類 (左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサガキカメムシ 写真：西部指導所提供)

い。果樹カメムシ類(写真)は夜行性であるため、薬剤防除の時間帯としては、夕方散布が最も効果的です。

家庭菜園

夏野菜の収穫が本格化している頃でしょう。栽培期間の長い夏野菜では草勢を見ながら適切に追肥を行うことが大切です。しかし、草勢をどのように判断するか難しいと思います。そこで、今月は品目ごとの草勢の判断方法についてご紹介します。

ナス

- ・長花柱花(雌しべが雄しべよりも長い)
- ・花の色が濃い紫色
- ・開花位置よりも上に4〜6枚の展開葉がある



草勢を判断する際はこの3つの内2つ以上が満たされているかを確認してください。最もわかりやすいのは、雌しべの長さを確認することです。開花している花の中を覗き込んで真ん中にある雌しべが周りの雄しべよりも長ければ生育が旺盛と判断できます。



トマト

- ・開花房から次の蕾までの長さが6〜8cm程度。



- ・先端(成長点)から開花花房までが15〜20cm程度。

トマトにおいても雌しべの長さを確認することである程度、草勢を確認できますが、顕著に違いが現れません。そのため、成長点から開花花房までの長さや開花花房下の茎径も併せて確認するようにしてください。トマトにおいても2つ以上満たされていることが望ましいです。

ピーマン

- ・長花柱花(雌しべが雄しべよりも長い)
- ・葉の先端から開花花房までが10〜20cm程度。



以上、3品目について草勢の判断基準をご紹介しました。これらの基準を参考に草勢を確認してみてください。例えば雌しべが雄しべよりも短い(短花柱花)など草勢が衰えている場合は、追肥を検討してください。逆に、長すぎるなど生育が旺盛な場合は肥料を控えましょう。肥料分は水に溶けることで作物が吸収できる形となりますので、追肥の際は灌水も行うようにしましょう。

Information お知らせ

親子で農業体験 in 三原 2026

サツマイモの苗植え体験

三原市高坂町で6月6日、サツマイモの苗植え体験を開催しました！親子15組が参加し、「紅はるか」の苗 750 本を1本ずつ丁寧に定植。実ったサツマイモは10月の農業体験で収穫する予定です♪



親子で協力して
植えました♪



大きく実りますように！



先月行った田植への
苗の生育確認も
しました



8月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
三原西	三原						三原西	三原		三原		三原西		三原	三原					年金相談会 本郷中央支店	三原西	三原						三原西	三原	
	本郷							本郷		三原西		※1		三原西	本郷								本郷						本郷	
	久井							久井		本郷				本郷	久井							久井							久井	
	鷺浦							鷺浦		久井				久井	鷺浦							鷺浦							鷺浦	
	せとだ							せとだ		鷺浦				鷺浦	せとだ							せとだ							せとだ	
	竹原							竹原		せとだ				せとだ	竹原							竹原							竹原	

※1 8/13 鷺浦AC 午後休業